

連休期間中の家畜防疫対策の徹底について

近年、訪日外国人の増加により、口蹄疫やアフリカ豚熱の国内への侵入リスクが非常に高くなっています。また、連休期間中は、国内外の人の往来が活発になるため、農場への病原体侵入防止対策を徹底して下さい。

◆口蹄疫◆

韓国の牛飼養農場で、本年3月に1年10か月ぶりとなる発生が確認され、4月以降も豚飼養農場で発生が続いています。

◆アフリカ豚熱◆

韓国で継続的に発生が確認されています。特に日本との往来の多い韓国の釜山広域市において、一昨年12月以降、野生いのししにおいて感染が続発するなど、国内への侵入リスクが非常に高まっています。

◆高病原性鳥インフルエンザ◆

本年2月1日の発生事例以降、家さん飼養農場での発生はありませんが、野鳥での感染は確認されています。渡り鳥の北帰行は続いているので、引き続き警戒を強める必要があります。 ※家さん：14道県51事例発生

◆豚 熱◆

国内の野生いのししで広く感染が確認されており、今月、新たに宮崎県で感染事例が確認されています。また豚飼養農場では、3月に千葉県で初めての発生がありました。

▷海外渡航の自粛

- ・アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航自粛

▷農場外国人従業員への病原体持ち込み防止指導の徹底

- ・肉製品や農場で使用する作業服、器具等が海外からの携行品、国際郵便物等によって持ち込まないように指導すること

▷衛生管理区域及び畜舎内への病原体侵入防止の徹底

- ・必要のない人を立ち入らせず、不要な物を持ち込まないように、看板等の掲示
- ・野生動物の誘引防止及び侵入対策の徹底
- ・衛生管理区域や畜舎へ立ち入る場合は、専用の手袋や靴の着用、手指・物品の消毒等を実施

▷毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・家畜の異状（特定症状）を認めたら、速やかに当所へ連絡



京都府中丹家畜保健衛生所 **※早期発見・早期通報をお願いします！**

TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861